

中津川市の公共交通崩壊を食い止めるための緊急アピール（案）

中津川市公共交通会議は、地域の公共交通の活性化に取り組むために平成 20 年 6 月に設置されました。平成 30 年 3 月には中津川市地域公共交通網形成計画を策定し、「住んでよかった、住んでみたい街に」を基本方針として掲げ、利用者を確保することで地域公共交通網を維持し、公共交通で安心して移動できることで、いつまでも定住できる、住みたくなる街を目指し、地域一丸となって地域公共交通の活性化に取り組んでいます。

しかしながら、今般の新型コロナウイルス感染症の影響により、外出の自粛や学校の休校、観光客の減少が続く中で、中津川市内においても公共交通利用者が大幅に減少しています。このままでは、地域公共交通の担い手である交通事業者の事業継続も危ぶまれる状況であり、そうなれば住民の生活にも大きな影響が生じる恐れがあります。

各公共交通機関では、換気、消毒等の様々な感染防止対策を行っています。本会議としても、こうした取組みや公共交通機関を安全に使っていただくための方法などを住民の皆さんに知っていただくための PR を実施してまいります。

地域の皆さんには、日常生活における重要なインフラである公共交通機関の大切さをご理解いただき、感染防止に留意したうえで、鉄道、バス、タクシー等を積極的に利用していただくようお願いします。

中津川市では交通事業者に対して、感染防止対策と路線維持のための支援策を実施することとなっております。国及び岐阜県におかれましても、こうした地域の窮状をご理解いただき、持続可能な公共交通の維持確保のために必要な支援を速やかに実施していただきたく、緊急アピールを宣言いたします。

令和 2 年 6 月 24 日

中津川市公共交通会議

会長 大井久司